

きっと、もっと、良い流通があります。

私たちは安心した品質でお届けします。



会社案内

ご挨拶

1995年に省エネ事業部と言う部門を創設いたしました。

現在、その部門は油吸着分解材『スノム』を製造するメーカーへと成長しましたが、何故運送会社がそんな事をするのか？ 当時多くの方々に尋ねられました。

『21世紀に生きる企業の条件』が答えです！

21世紀は、高度成長時代に考えられていた夢の機械文明でもなく、皆が金持ちになり優雅にリゾートで過ごす時代でもありません。

しかし将来生まれてくる私たち日本人の子供達に、「お前達にこんなりっぱな日本を残してやったぞ！」と云える自覚を持つには、日本経済を引っ張って来た中小企業の矜持だと思います。その気持ちが環境を歌う企業にしようと考えました。

それからです、運んでいるだけではだめだ。日本を残す事業をするには何か？と社員共々熱く考えました。

今、当社はあの時から10数年の時を経て少しずつ、夢が生まれつつあります。

時間はかかりましたが、運ぶだけではなく、物流の企画、又その周辺事業から、全国へと考え方が広がりました。私たちの想いは『最適な提案と実行をクライアントへ！』です。

D S B (Distribution、Support、Business) はクライアント物流をサポートするための造語です。

主体はお客様にありながら、全てのステージの支えは私どもが行う。

この一歩下がった立場を取る事が、私たちの姿勢であり、事業のあり方でございます。

海外物流はもちろん工場内管理も行える皆様のサポート企業として社員共々全力で進んでまいり所存です。

周防運輸株式会社
代表取締役 友景 昭隆

会社概要

| | |
|------|--|
| 商号 | 周防運輸株式会社 |
| 本社 | 〒747-0825 山口県防府市新田 246 番地 |
| 連絡 | TEL 0835-22-2507 FAX 0835-24-0072 |
| 創業 | 1953年（昭和28年）9月 |
| 設立 | 1964年5月20日 |
| 資本金 | 3,300万円 |
| 代表 | 代表取締役 友景昭隆 |
| 従業員数 | 130名（2011. 2. 1現在） |
| 車両台数 | 112台 |
| 事業所 | 中関営業所（山口県防府市） 周南営業所（山口県周南市） 山口営業所（山口県山口市） 北九州営業所（福岡県北九州市） 山口D S Bセンター（山口県防府市） 広島D S Bセンター（広島市西区） 愛媛D S Bセンター（愛媛県松山市） 香川D S Bセンター（香川県高松市） 名古屋事務所（愛知県名古屋市） |
| 取引銀行 | 山口銀行／広島銀行／もみじ銀行 |

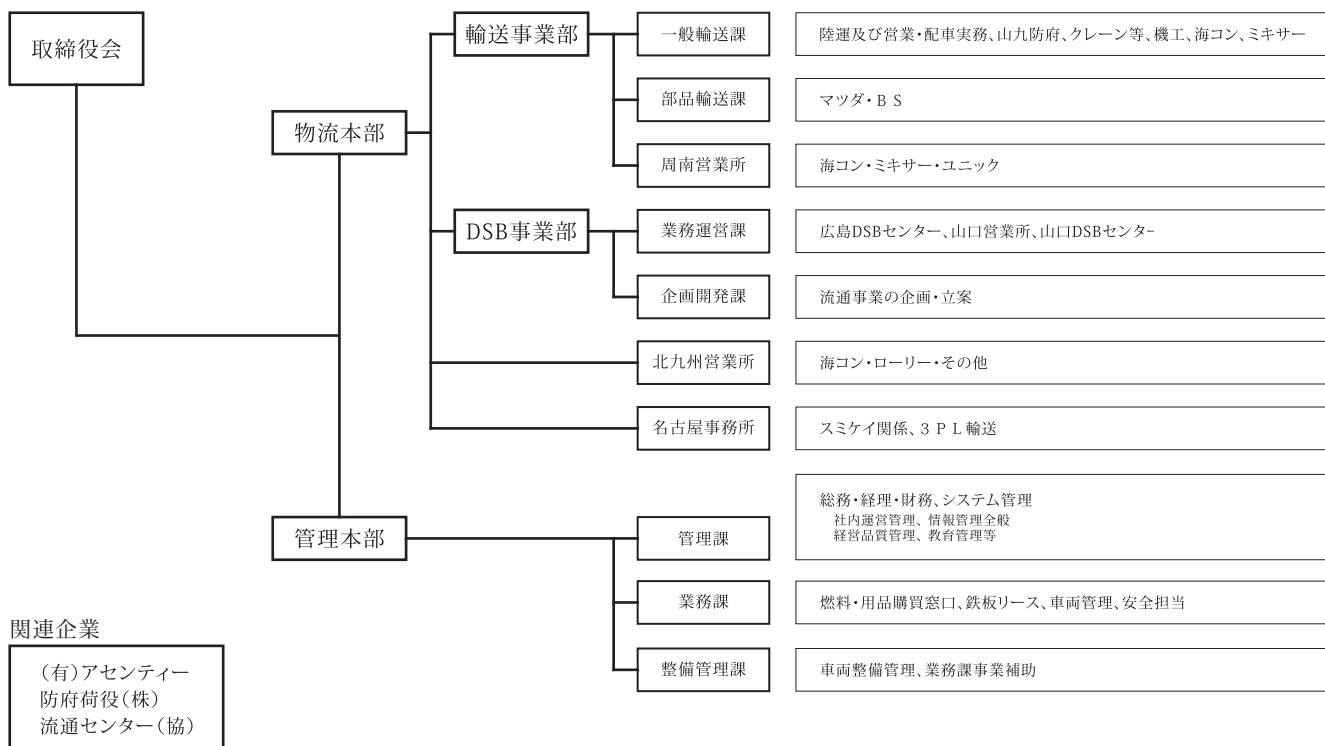
| | |
|------|--|
| 営業種目 | <ul style="list-style-type: none">・一般区域貨物・自動車運送事業・港湾運送事業・貨物取扱事業・クレーン作業・倉庫業・環境製品の販売・建設業・内航運送取扱事業及び代理店業務・機械器具設置事業・建設用敷鉄板の賃貸・産業廃棄物収集運搬業・自動車分解整備事業 |
|------|--|



沿革

- 1953年 9月 山口県佐波郡徳地町堀（現在 山口市徳地堀）にて友景運送店として創業
- 1963年 11月 協和発酵防府工場内に作業所を新設
- 1964年 5月 友景運送店を周防運輸株式会社に変更
- 1970年 6月 山九（株）と業務提携
- 1971年 2月 山口駐在所、徳山駐在所を設置
- 1973年 4月 田村回漕店と周防運輸を合併し、周防運輸（株）港湾部を設立し、田村回漕店を解散
- 1974年 2月 防府流通センター協同組合の設立に加盟 マツダ（株） プリヂストン（株）の輸送開始
- 4月 生コン輸送業務を開始
- 1977年 5月 整備事業を開始（現 山口市徳地にて）
- 1981年 7月 本社の法人籍を徳地堀から防府市に移転
- 1982年 4月 防府荷役株式会社の設立に出資
- 1986年 7月 代表取締役 河野敬郎就任
- 1987年 8月 徳山駐在所を下松営業所に昇格させ東洋港運（株）レミコン部の輸送作業を開始
- 1988年 6月 代表取締役 友景昭隆就任
- 1991年 11月 下松営業所を周南営業所に名称変更し徳山市（現周南市）に開設し、山九（株）の海上コンテナ輸送作業を開始
- 1992年 2月 機工部門を新設 機械・モニユメント設置 JR関係メンテナンス事業を始める
- 12月 新社屋落成に伴い、C Iを実地し新体制スタート
- 1993年 5月 鉄板リース業を新設
- 1995年 7月 省エネ事業部を新設
- 2000年 3月 コマツ山口の組織変更に伴い、山口駐在所を閉鎖
- 2002年 5月 一般建設業 とび・土木工事業、機械器具設置工事業の認可を取得
- 2004年 1月 省エネ事業の油吸着剤『スノム』の発明に伴い、（有）アセンティーを設立
- 10月 流通事業部を新設
- 2005年 10月 名古屋事務所を開設
- 2006年 1月 従来の陸運部を第一事業部、第二事業部、新規事業部とする
- 11月 DSB事業部センターを開設
- 2007年 1月 新規事業部を発展解消とし第1事業部へ併合
- 2008年 11月 流通事業部をDSB事業部へ名称変更
- 11月 リョーユーパン（株）との業務提携により、愛媛・香川DSBセンターを拠点に四国4県の物流一貫事業開始
- 2009年 7月 敷島製パン（株）との業務提携により、広島DSBセンターを刷新し物流一貫事業開始
- 8月 リョーユーパン山口工場 物流の増大に伴い営業所新設
- 2010年 1月 山口DSBセンター新設及び広島DSBセンター新設
- 2011年 1月 北九州営業所を開設

組織図



取引先

| | |
|----------|---|
| 第一・第二事業部 | 山九（株）／帝人物流（株）／スミケイ運輸（株）／マロックス（株）／（株）ブリヂストン／ 日本通運（株）／日立物流（株）／麒麟倉庫（株）／澁澤（株）／（株）トクヤマ／あさひ物流（株）／ 東ソー物流（株）／シーゲートコーポレーション（株）／三菱倉庫（株）／GODA（株）／ 中国名鉄運送（株）／王子ゴム化成（株）／日立笠戸重工業協業組合 他 |
| 機工部 | （株）ヒロテック／マツダエース（株）／（株）銘建／（株）J R西日本テクノス／（株）カネダ温調設備／ （株）一条工務店／（株）ベルボリエテルプロダクツ／（株）技工団／ヤンマー（株）／ セキヤヒューム（株）／麻生商事（株）／戸田建設（株）／王子ゴム化成（株）／日立笠戸重工業協業組合／ シマダ（株）／（株）中電工 他 |
| DSB事業部 | 流通支援事業 （株）リョーユーパン／敷島製パン（株）／（株）タカキベーカーリー／松月堂製パン（株）／（株）神戸屋／ 環境事業 上野興産（株）／UMGABS（株）／JFEスチール（株）／川鉄橋梁鉄鋼（株）／ 三菱ふそう自動車販売（株）／サンキュウトランスポート中国（株）／マツダエース（株）／ 日産ディーゼル自動車販売（株）／コーヨー久永（株）／帝人ファイバー（株）／平田機工（株） 太平興産（株）／土井産業（株）・朝日航洋（株）／船山（株）／（株）赤兎馬／ケービーエル（株）／ 加地貿易（株）／東京電力（株）／日本橋梁（株）／（株）大林組／マロックス（株） 他 |

保有車両内訳

| 車種 | 台数 |
|-------------|------|
| 4tトラック | 4台 |
| 4t冷蔵冷凍車 | 9台 |
| 10t平トラック | 7台 |
| 10tウイング | 31台 |
| 海上コンテナトレーラー | 6台 |
| トラクター | 8台 |
| トレーラー | 10台 |
| タンクローリー | 3台 |
| ラフター | 7台 |
| クレーン付トラック | 6台 |
| 10tセルフローダー | 1台 |
| ミキサー | 7台 |
| その他 | 3台 |
| 計 | 102台 |

環境への取り組み

■環境方針

全社員が無理・無駄を省き、経済活動と地球環境保全の両立を目指す。

■基本理念

21世紀の企業として、未来の子供たちに美しい地球を残すことが企業責任である。

～排気ガスの削減、省エネルギーの率先、省資源化への企業努力。

～交通事故の撲滅、効率的な物流配送車、計画的な資源活用を図り、社員一人一人が環境に対する主体的意識を持ち、社会に貢献できる地球企業として最善を尽くす。

■環境行動指針

- ・車輛の燃費率を上げるために、管理運営・エコドライブの教育を毎月行う。
- ・車輛管理のために、管理表の運用・社員との対話・張り出し表の活用を行う。
- ・交通事故撲滅と意識レベル向上のために、歯止めの推進とエンジンカット運動を推進する。
- ・管理組織にて、毎月の管理報告とPDCA運動を通じて、常に前向きな行動をする。
- ・安全推進委員会を毎月行い、本指針を全社員に周知徹底し、クリーンな作業を目指す。
- ・決められた事は文書化して全社員に周知徹底し、その推進と維持に努める。
- ・環境に対する意識レベル向上のために、情報収集と勉強会を通じて新たな汚染予防に取り組む。
- ・当社は、サービスに係る環境関連法規制、その他当社が同意する要求事項を遵守する。

■環境事業

当社は、運送会社として地球環境・保護に事業として取り組み、1995年に省エネ事業部（現：流通事業部）を立ち上げ、以後様々な商品の開発をしてまいりました。

2006年中小企業創造促進法に基づき山口県の認定を受け、生分解性油吸収剤「スノムワイド」、生分解性土壌改良剤「スノム土壌」を開発。平成16年から市場導入を開始、国内外を問わずあらゆる産業分野から高い評価をいただいております。

開発に当たっては山口県をはじめ山口大学や民間で長年、油吸着剤の研究を行っておられた山口県在住の方々のご協力を得ました。製品化に伴い平成16年1月、有限会社アセンティアーを設立し工場を当社の本社構内に建設、平成18年7月より稼動しております。また、山口県の外廓団体「やまぐち産業振興財団」からビジネスモデルプランがクラスAの評価を受け同団体の支援を受けており、技術面では山口県産業技術センターの指導を受け製品の性能・品質・商品開発のサポートを受けております。

特許出願中（特願2003-378158）。

エコマーク認定（平成17年6月）。

国土交通省NETIS登録（登録番号：CG-060014）。



安全管理

■安全マネジメント基本理念

“健康であること”安全であること”その状態の為に周防運輸全社員は一人一人が築く安全に努力し、笑顔の家庭と安心な輸送を通して社会に貢献し、お客様と共に高品質な輸送価値に取り組み、地域社会を『安全と笑顔』に巻き込む。

■安全基本方針

- I 法規則の遵守
- II 安全運転の周知徹底
- III 確実な車両運行管理

■グリーンへの目標

エコドライブの意識徹底、各車両の燃費目標の確立により、各ドライバーが燃費改善と車両管理に努めています。

■二酸化炭素の排出は？

地球温暖化がこのペースで進むと、2100年には平均気温が2度ぐらい上昇し、南極や北極の氷が溶け、海水がふくらんで、海面が約50cm上がると予想されています。

地球温暖化を防ぐには温室効果ガスの95%を占める二酸化炭素の排出を減少させることが重要です。二酸化炭素量は燃料の消費量に比例しています。

このため各車両の排出量を計測し、毎年の目標をクリアするようエコドライブ運動に取り組んでいます。

■デジタコ運動

デジタルタコグラフにて数値管理をしています。最高速度、平均速度、急発進、急加速、急減速、アイドリング時間、速度オーバー時間、エンジン回転オーバー時間など、安全運転ランキング、経済運転ランキングなどです。また6分間隔のエンジン回転数の推移から発進時からトップギアまでの回転数を調査して指導しています。

■社員手帳

笑顔の家族写真：苦しい時、つらい時、笑顔の写真を見て下さい。あなたがやるべき事は笑顔で家族のもとへ帰る事です。だから、もうひとふんばりするの、あるいは安全の為に一休みするのか・・・。

事故したら、ケガしたら、笑顔では帰れません。『安全と笑顔』は1人1人の心の問題です。一年に一度、笑顔の家族の写真をとって手帳に貼る。その事から『安全と笑顔』は始まるのです。

手帳内容：スローガン、エコドライブ8推進、各担当電話帳、環境方針、安全基準、安全推進計画、緊急事故マニュアル、道路交通情報連絡先、全国トラックターミナル情報

